

過去最高の 2,226 人がエントリー



◎もくじ (2013年4月号)

2 うたせマラソン大会

4 夢チャレンジ賞受賞

/ 佐敷駅通路橋完成

5 修了証書 & 卒業証書授与式

/ 広域農道全線完成

6 まちのわだい

10 平成 25 年度当初予算

14 ひとり暮らし高齢者福祉サービス

15 保健センターだより

/ 1歳6カ月児健診

16 芦北に残る文化遺産

/ 景さんの芦北チョアチョア記

17 町職員人事異動

18 お知らせ

20 警察署 / 消防署 / 編集後記

21 書道・短歌 / 出生・おくやみ

22 芦北町消防点検

/ 星野富弘美術館だより

/ 薩摩街道湯の香ぎやらりー

芦北 うたせマラソン大会

芦北町の春の風物詩「芦北うたせマラソン大会」が3月24日、芦北海浜総合公園前をスタート、ゴールに開催されました。ランナーは春の潮風をいっぱい受け風光明媚（めいび）なコースでさわやかな汗を流しました。



1 桜の花の下、海を望むコースを走るランナー 2 選手宣誓する石矢さん親子 3 バカ殿様とハンター? 4 うたせ船がお出迎え 5 沿道の応援者とハイタッチ 6 笑顔でピース 7 ゴールまであとわずか。ラストスパート! 8 ゴール後すぐにタイムが印字された記録賞が渡されました 9 抽選会は大勢の人ばかり 10 表彰台に立つ入賞者 11 抽選会でデコポンを見事ゲットした小学生

29回目となった今大会は18都道府県から過去最高の2226人がエントリー。遠くは北海道から参加したランナーもいました。心配された天気は曇り、絶好のマラソン日和となりました。開会式で石矢敬澄さん、信子さん、涼花さん親子3人が「芦北のさわやかな潮風を感じながら無理せず楽しく走ります」と力強く選手宣誓しました。

午前10時のハーフマラソンの部がスタートしたのを皮切りに10km、5km、3kmの部も順にスタート。鶴ヶ浜海水浴場沖ではうたせ船が参加者を歓迎。沿道で応援する人にも手を振る余裕やカメラに笑顔をみせながら走っているランナーもたくさんいました。

レース後は、参加者全員に名物のエビ飯が振る舞われ、応援に来た家族や友人と昼食を楽しんでいました。表彰式では各部門の男女別の上位入賞者や遠方からの参加者、最高齢者、10回・20回出場者の表彰が行われました。最後に、あしきた牛や大関米、観光うたせ船乗船券などが当たる抽選会で盛り上がりました。

夢チャレンジ賞を受賞

地域づくり夢チャレンジ推進事業

県内の市町村や地域団体の自主的な地域づくりを助成するために県は平成23年度から「地域づくり夢チャレンジ推進事業」を行っています。特に本事業を積極的に活用し地域づくりに取り組んでいる市町村を表彰する「地域づくり夢チャレンジ賞」を芦北町が受賞し、表彰式が3月28日、県庁で行われました。受賞した自治体は芦北町を含め、八代市、山鹿市、上天草市、美里町、山都町の6市町。本町は竹崎町長が表彰式に出席し、蒲島知事か



▲蒲島知事から竹崎町長に表彰状が手渡されました

ら表彰状が手渡されました。蒲島知事は「いろんな夢に向かって取り組んでいる各市町村の事業が県全体の幸福量につながります。これからもさらに頑張ってください」とあいさつ。その後、表彰を受けた自治体の特産品などの展示・試食が行われました。

本町は、平成23年度に温泉と塩のあるまちづくり開発プロジェクト(御立岬)、大岩地区むらづくり協議会のみんな集まれ!小さな産業づくり事業、平成24年度に花とオレンジの観光交流づくり事業(御立岬)、あしきた写真フェスタ開催事業の4事業を行っています。



▲芦北町の特産品を蒲島知事に説明する竹崎町長

未来への旅立ち

修了証書&卒業証書授与式

3月は卒業式シーズンです。町内でも保育所(園)、幼稚園、小学校、中学校、高校で修了証書や卒業証書が手渡されました。

芦北幼稚園では3月19日、9人が卒業。江口ヒロ子園長から一人ずつ修了証書が手渡されると、卒業生は「大きくなったらお母さんのような保育園の先生になりたいです」などと将来の夢を発表。その後、保護者に「毎日送り迎えしてくれてありがとう」「いつもおいしい料理をありがとう。これからも元気で



▲元気よく「ありがとうございます」と言って園長先生から修了証書を受け取る園児(芦北幼稚園)

いてください」と感謝の言葉を伝え、受け取った修了証書を手渡しました。卒業生も感極まって涙を流していましたが、保護者も立派に成長した子どもの姿に感激し涙を見せていました。



▲在校生や先生に見送られ涙を拭きながら学習舎を後にする卒業生(3月1日、芦北高校)



▲在校生や保護者に感謝を込めて「旅立ちの日」を歌う卒業生(3月22日、大野小)

念願の通路橋完成

肥薩おれんじ鉄道佐敷駅

肥薩おれんじ鉄道佐敷駅に通路橋が完成し、3月21日に開通式が行われました。式典には地元住民など約60人が参加。通路橋の完成により、鉄道の線路を挟んで改札口側とスカイドーム側がつながりました。これまででは佐敷駅―スカイドーム間は町営住宅射場団地方面を経由する約860mの距離でしたが、この通路橋を利用すると従来の4分の1の距離で到着できます。



▲完成を祝いテープカットとくす玉割りをする関係者

竹崎町長は「地域の皆さまに長きにわたり愛され、利用される通路橋になるよう適正な維持管理に務めてまいります」とあいさつ。池田正邦花岡西区长は「車での移動だったのが徒歩によって行き来ができ、交通の利便性が向上しました。万一の災害時において避難場所となっているスカイドームへの避難がスムーズにできるようになり、地元にとっては大変ありがたい限りです。これからは地域の交流がますます盛んになるようにいに活用させていただきます」と地元を代表して感謝の言葉を述べました。テープカット、くす玉割りの後、出席者全員で渡り初めを行いました。



▲式典終了後、橋長34m、幅2mの通路橋の渡り初めを行いました

広域農道全線完成

七浦オレンジロード供用開始

田浦インターから津奈木町小津奈木を結ぶ総延長約28kmの県営芦北地区広域営農団地農道整備事業「七浦オレンジロード」が事業完了し、3月26日、完工式が最後の工事区間となっていた鶴木山地区で行われました。

式には県や1市2町(水俣市、芦北町、津奈木町)の関係者など60人が出席。神事後、完工式で事業推進協議会会長の竹崎町長が「この広域農道の完成により交通の利便性が大いに改善され、地域



▲テープカットをする関係者

農業・農村の活性化に大きく貢献し、地域の振興および発展が飛躍的に促進されるようになりました」とあいさつ。その後、テープカットが行われ、葦北鉄砲隊の演武で完成を祝いました。本事業は昭和55年から取り組んでおり事業着手から33年を経ての完成となりました。広域農道沿いにはJAあしきた選果場や玉ネギ選果場があり、広域農道の完成で、より効率的に集荷できる状態となりました。南九州西回り自動車道に直結していることにより、流通の高速化も図られるようになりました。4月1日から供用開始しています。



▲葦北鉄砲隊の演武で完成を祝いました

田原秀喜さん祝 100 歳



奥さんやいとこに 100 歳の誕生日を祝福される田原さん

田原秀喜さん（上町）が 3 月 13 日に 100 歳の誕生日を迎えました。入院している井上病院で妻の稔子さんといっしょに、井上病院の職員の皆さんが祝い、竹崎町長が田原さんへ慶祝金を交付しました。

田原さんは時間に几帳面で、朝 5 時きっかりに起きて 6 時には職場に行って掃除、夜は午後 8 時に就寝という日課を 80 歳まで欠かすことなく続けていたそうです。「自分に厳しく、人にはやさしい人です。80 歳で仕事を辞めてからは自転車ではほぼ毎日湯涌温泉に行っていました。食事にはとても気を使っていました。運動や食事など健康管理を自分でしっかりしていたのが長生きの秘訣でしょうね」と稔子さんが話してくれました。

読み聞かせグループ「カナリア」

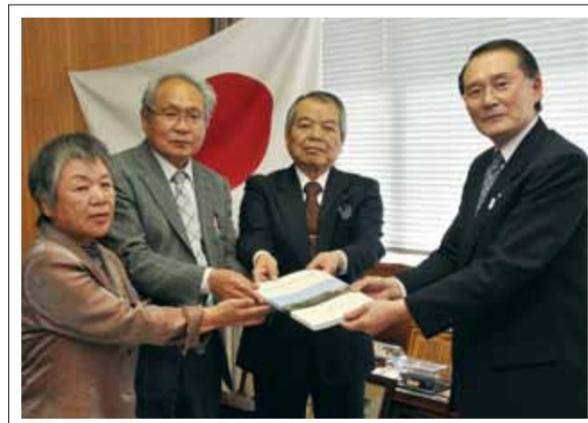


内野小図書委員からの突然の感謝の言葉にうれしそうな表情の「カナリア会」の会員（後列右から 2 番目が代表の溝部さん）

読み聞かせグループ「カナリア会」が平成 24 年度熊本県優良読書グループ表彰を受賞しました。平成 15 年に発足以来 10 年に渡り町内の学校で読み聞かせの活動を行っていることが評価されての表彰です。現在は会員 13 人が町内の 4 小学校と 1 中学校で月 1 回、朗読活動を行っています。代表の溝部健一さんは「本に親しんでもらえるきっかけになればと思い活動しています。月 2 回の練習会で会員は研鑽（さん）を積んでいます」と話してくれました。内野小学校で 3 月 18 日、平成 24 年度最後の朗読会があり、内野小の図書委員から「いつも丁寧本を読んでくださってありがとうございます。これからも頑張ってください」と会員にお礼の言葉が贈られました。

佐敷城跡の保存管理計画を報告

平成 20 年に国史跡に指定された佐敷城跡の保存について平成 21 年度から会議を重ねてきた佐敷城跡保存活用検討委員会が 3 月 19 日、役場を訪れ佐敷城跡保存管理計画書を竹崎町長に手渡しました。委員長の北野隆熊本大学名誉教授は「史跡佐敷城跡の文化財としての価値を適切に保存するために計画を検討してきました。我々の報告が佐敷城跡の保存と文化財を生かしたまちづくりに寄与できれば幸いです」とあいさつ。竹崎町長は「佐敷城跡は歴史を後世に伝える貴重な文化遺産。この計画策定報告を真摯（しんし）に受け止め、芦北町のまちづくりを進めてまいります」と話しました。



保存管理計画書を竹崎町長に手渡す北野委員長（右から 2 番目）、佐藤伸二副委員長、白菊静子地域代表委員

内野小児童がカンボジアのために

内野小（松原恵治校長）児童代表 3 人と先生 2 人が 3 月 5 日、役場を訪れ芦北町国際交流協会（竹崎一成会長）へカンボジア学校建設に寄附金を手渡しました。寄附金は 2 月 24 日に実施された「内野っ子まつり」でのバザー益金などです。全校児童が各家庭から余剰品を持ち寄り、保護者や内野小校区の地域住民に呼びかけて行っています。児童を代表して益金を手渡した岩下睦さん、山内未夢さん、宮島杏華さんは「バザーと募金活動でたくさんのお金が集まってよかったです。このお金がカンボジアの人の役に立つとうれしいです」と話してくれました。同協会は 5 校目の学校建設に向けて募金活動を行っています。



内野小児童が竹崎会長へ寄附金を手渡しました

講座で習った成果を発表



踊りを披露する舞踊教室の受講生

平成 24 年度の町民講座閉講式が 3 月 20 日、町社会教育センターで行われました。平成 24 年度は 24 講座に 301 人が受講しました。

式では、受講生を代表して短歌教室を受講した山元千恵美さん（鶴木山）が「受講したおかげで素晴らしい仲間と出会うことができました。人と人との出会いを大切に、その中で自分自身を成長させ、自然に寄り添いながら私らしく短歌を作り続けていきたいと思えます。温かく指導してくださった先生方や関係者に感謝します」と謝辞を述べました。式の後、受講生が昨年 5 月から閉講までの 10 カ月間で学んだ成果を披露しました。

人命救助に対し感謝状



春野慎司芦北署長から感謝状を受け取った塩宮さん

芦北警察署が 3 月 6 日、NPO 法人みさとの職員塩宮多紀子さん（塩浸）へ感謝状を贈呈しました。昨年 7 月 12 日の午前 9 時 30 分頃、塩宮さんが担当している施設利用者の安否確認のため、同法人が行っている地域見守り活動で大岩・吉尾地区を巡回中、吉尾地区の 80 歳代夫婦の自宅前の川が増水しているのを発見。このままでは水が護岸を越えそうだと判断。職場へ連絡し夫婦を車で避難させました。避難後に夫婦宅は床上浸水。人的被害を未然に防ぎました。塩宮さんは「夫婦は介助が必要で自力で避難するのは難しいと知っていたから助けることができました。救助できてよかったです」と当時を思い出した表情で話してくれました。

二見田浦線一部開通



地元を代表してあいさつする中村井牟田2区長

県道二見田浦線の一部開通を祝う祝賀式典が3月25日、井牟田地区で行われました。地元の井牟田1、井牟田2、波多島区が主催し、県や町、地元関係者約50人が出席。中村逸郎井牟田2区長は「長年の夢だった道路がようやくここまで完成しました。関係者に深く感謝します」とあいさつ。竹崎町長は「残す区間は芦北側300mと八代側1,000mです。全線開通に向け全力を尽くします」と話し、県土木部が今後の計画を説明しました。これまでは道路の幅が最も狭い所で1.4mで軽自動車しか通行できない状態でしたが、海を埋め立て道路を新たに造り、幅が5mまで広がりました。

田川地区今年もカンボジアへ貢献



田川地区明るい農村農業体験実行委員会（右から2番目が大園代表）が益金を寄附

田川地区明るい農村農業体験実行委員会（大園憲博代表）がカンボジアの学校建設に役立ててくださいと3月19日、役場を訪問し芦北町国際交流協会（竹崎一成会長）へ寄附をしました。田川地区はもち米作りを通じた地域活動を行っています。収穫したもち米でもちをつき、田川地区の全戸に配布をしています。今回の寄附は、残ったもち米を地域で販売した益金です。大園代表は「自分たちの活動は今年で8年目を迎えました。私たちの活動は地域住民はもちろん、子どもたちやALTも協力してにぎやかに行っています。少しでもカンボジアの役に立ててもらえたらうれしいです」と笑顔であいさつしました。

初期消火活動に対し感謝状

建物火災時に初期消火活動を行った石岡重人・万亀子さん夫婦（熊本市）、末松孝治さん（湯浦北）、山川眞弘さん（同）の4人に対し感謝状が贈られました。3月26日に芦北消防署で行われた贈呈式には2組が出席しました。1月13日に湯浦で発生した建物火災を車で通りかかった石岡さん夫婦が発見し、消防署へ通報、近所への火災周知、初期消火活動を行いました。その後、末松さんと山川さんも消火活動に加わり、延焼拡大を防ぎました。火災を発見した石岡さん夫婦は、「その時は火を消すことで必死でした。当たり前のことをしていただけなので表彰していただき恐縮です」と話してくれました。



贈呈式に出席した石岡さん夫婦(中央)と山川さん(右)

イベントたくさん「うらら祭り」

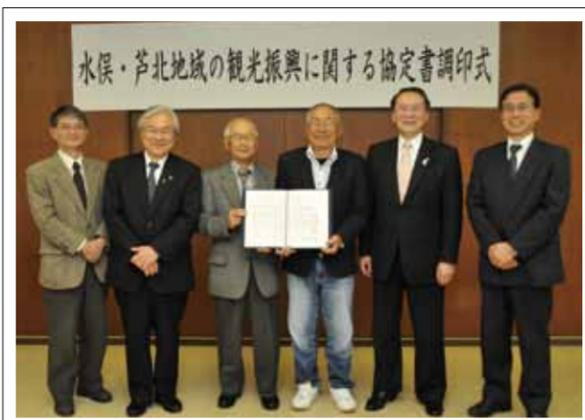
たのうら物産フェア「うらら祭り」が3月23日、24日の2日間、芦北町物産館肥後うららで開催されました。

会場に山積みされたデコポンや甘夏の重さ当てや数当てクイズ、甘夏の皮で作る甘夏ピール作り体験、シイタケ種のコマ打ち体験、ハマチのつかみ捕り大会やあさり潮干狩り大会など盛りだくさんのイベントが行われ、会場は終日大にぎわいでした。甘夏ピール作り体験では甘夏の皮を形よくむく方法を教わりました。参加者はできあがった甘夏ピールをお土産に持ち帰りました。デコポンや甘夏などの柑橘類や海産物、農産物などの販売もありました。



甘夏ピール作りを体験する参加者

うたせ船と湯の児釣船が連携



調印を交わした八里芦北観光うたせ船組合長（右から3番目）と田村湯の児水俣釣船組合長（左から3番目）と立会人

風光明媚（めいび）な不知火海を活用した観光振興に取り組もうと芦北観光うたせ船組合（八里政夫組合長）と湯の児釣船組合（田村辰紀男組合長）は3月28日、芦北地域振興局で連携協定を締結しました。協定調印式には竹崎町長や宮本水俣市長ら4人が立ち会いました。交流人口の増加や観光振興を図るため水俣・芦北地域雇用創造協議会が企画し締結が実現しました。八里組合長は「水俣芦北両方にプラスになるよう手を取り合っている所と連携を図り頑張っていきたい」と力強く話してくれました。太刀魚釣り、うたせ船での漁体験、湯の児温泉への宿泊パックなどの旅行商品の開発を検討していきます。

芦北町産業祭「デコポン祭り」



新発売の「でこぼんワイン」を紹介する高峰博美 JAあしきた代表理事組合長

芦北町産業祭「デコポン祭り」が3月23日、24日、ファーマーズマーケット「でこぼん」で開催されました。両日とも先着100人にデコポンとサラたまちゃんがプレゼントされました。魚のつかみ捕りやサラたまちゃんの詰め放題、デコポン釣り大会、ものまねショーなどのイベントがありました。また、23日に販売が開始された新商品「でこぼんワイン」が紹介されました。柑橘類のワインは珍しく、商品開発に1年をかけた自信作だそうです。この日は早速、芦北の新たな特産品としてお土産に買っていくお客さんが数多く見受けられました。農産物や海産物、加工品などのブースもお客さんでいっぱいでした。

平成 25 年度芦北町予算総額 「町民生活の安全・安心の実現」を目指し 164億5,640万円

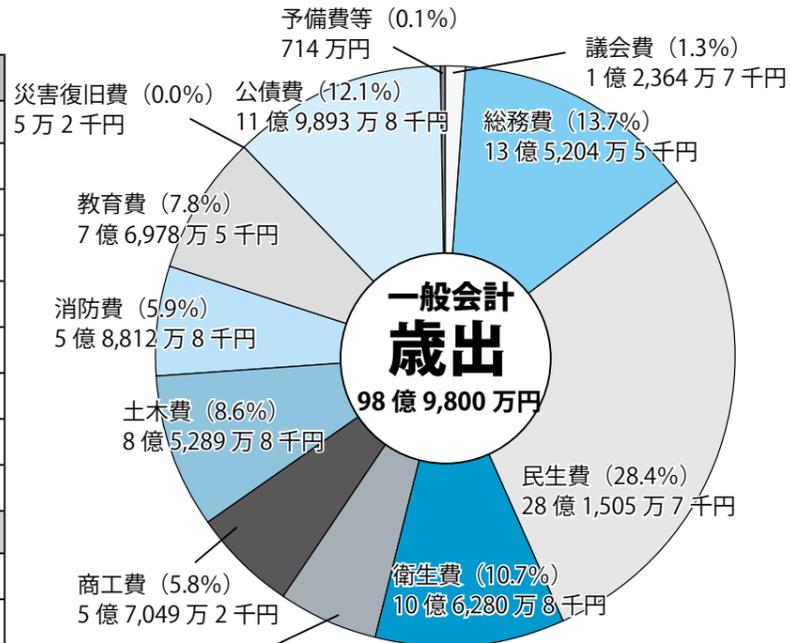
町民の皆さんの安全・安心を守り、住みやすい芦北町をつくるための新年度予算がスタートしました。町にはどのような財源があり、どのように使われているかを説明します。

*問い合わせ先
企画財政課 財政係 ☎(82)2511(内線251)

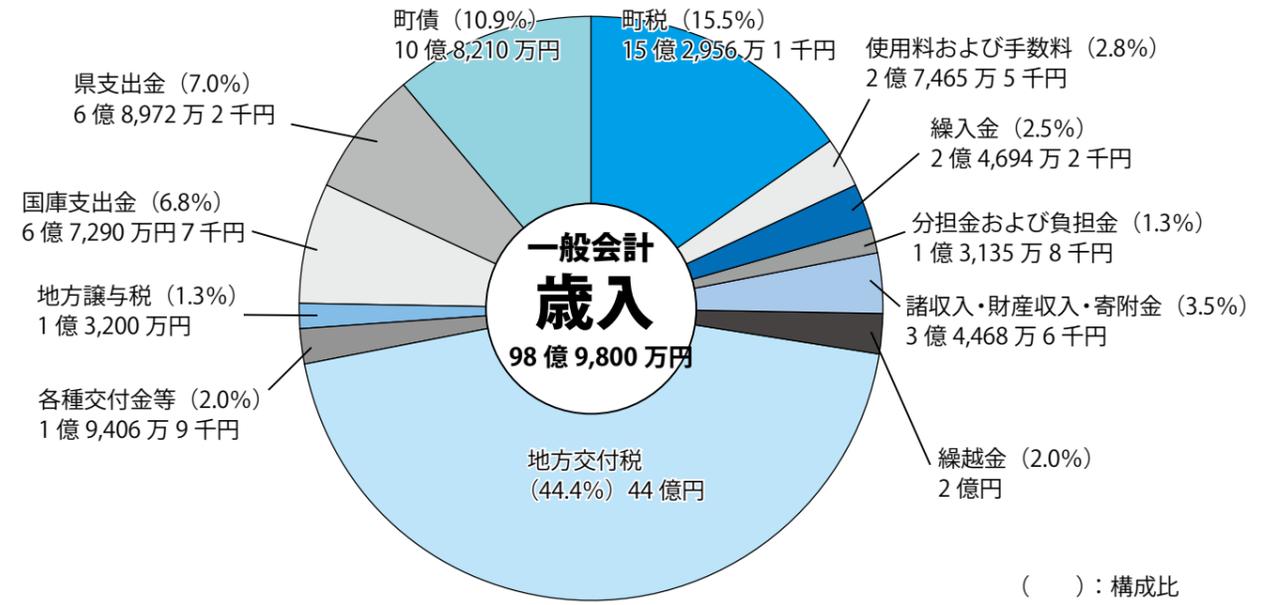
特別会計（水道会計含む） 予算総額 65億5,840万円

会計名	25年度予算	増減率
特別会計		
国民健康保険事業	34億6,140万円	△2.6%
介護保険事業	20億8,630万円	4.6%
簡易水道事業	7,500万円	△23.5%
農業集落排水事業	2億1,790万円	0.4%
生活排水処理事業	5,630万円	0.0%
町有温泉事業	1億2,130万円	11.6%
奨学資金貸付事業	3,070万円	2.0%
後期高齢者医療事業	2億6,340万円	3.6%
公営企業会計		
水道事業	2億4,610万円	△62.6%
合計	65億5,840万円	△5.9%

一般会計歳出 98億9,800万円



一般会計歳入 98億9,800万円



() : 構成比

【特別会計】

特別会計と水道事業会計（公営企業）の総予算額は65億5,840万円で、平成24年度と比較して4億1,386万円減少しました。主な要因は、被保険者の減少により国民健康保険事業会計の支出が減少したことや、城山配水池建設工事の完了に伴い水道事業会計の支出が減少したことが挙げられます。

【一般会計歳出】

歳出は、芦北町総合計画に掲げる「個性の光る活力あるまちづくり」の実現に向け、平成25年度は「町民生活の安全・安心の実現」に主眼をおいた予算編成を行っています。行政コストの削減、効率化を図りながら、必要な事業を積極的に実施していきます。

【一般会計歳入】

歳入は、町税が固定資産税や町たばこ税の増収見込みにより876万円増の15億2,956万1千円を計上しました。国庫支出金は、福祉関連経費の増などにより微増となりましたが、県支出金は、大型事業の終了により1億3,692万円減少しました。財産収入は、町内2カ所にメガソーラー（大規模太陽光発電所）が進出したことから土地貸付収入が増加し、9526万円増となる1億1,680万円を計上しています。基金からの繰入金は、安全・安心なまちづくりに活用するため、2億4,694万円を計上しました。町債は、10億8,210万円を計上していますが、うち1億9,406万9千円は、今後の財政運営を見据え、基金に積立てることとしています。

町の予算（一般会計のみ）を町民1人当たりに置き換えると

6703円

魅力的なまちづくりや効率的な行政経営

6万9265円

高齢者・障害者・子育て

14万4213円

ごみ処理や病気の予防

5万4447円

農林水産業の振興

2万8535円

商工業や観光の振興

2万9226円

道路や河川の整備

4万3694円

小・中学校や図書館、生涯学習活動

3万9436円

消防活動や防災

3万130円

借入金の返済

6万1421円

町民1人に使われるお金

50万7070円
町がいたただくお金
7万8359円

町民1人に使われるお金を1人当たりの町税額で割ると約6.5となり税負担の6.5倍の行政サービスが提供されています。※住民基本台帳人口1万9520人（平成25年1月1日現在）で算出しています。



3 生きがいある働き場づくり 農林水産業や商工業、観光などの振興を図るための事業です。

●アグリサポート育成事業 455万円

農業従事者の負担軽減のため、農作業のサポート組織を育成する事業です。

●商工業振興事業補助事業 2,188万円

商工業振興を図るため、小売店の改修などへの支援やプレミアム付商品券（1億円分）発行などを行います。

●湯浦温泉センター改修事業 1億3,509万円

施設の老朽化と利便性向上を図るため、改築、ポーリング工事などを行います。



▲湯浦温泉センター

4 豊かな心の人づくり 教育環境の整備をはじめ、文化・スポーツ振興、国際交流を推進するための事業です。

●防犯カメラ設置事業 410万円

子どもたちに安全な学習環境を提供するため、田浦中、佐敷中、湯浦中に防犯カメラを設置します。

●漢字検定受検補助、小中学校標準学力調査事業 129万円

中学生に対する漢字検定受検への補助を行います。また、継続した学力把握のため、町独自の学力調査を実施し、学力向上に取り組みます。

●佐敷東の城跡概要調査事業 1,658万円

町史跡の佐敷東の城跡の概要把握のため、レーザーを用いた測量を実施し、効率的な調査方法などの検討を行います。

5 生活を支える基盤づくり 暮らしやすい環境をつくるための道路整備や交通手段の確保、環境保全などを行う事業です。

●地方バス運行対策事業 4,022万円

交通弱者の町民の交通手段の確保を図ることを目的に、バス路線を維持するために赤字路線に対して補助を行います。また、スクールバスを活用した通称「ふれあいツク〜ルバス」運行の予算も計上しています。



▲地域住民の交通手段となっているふれあいツク〜ルバス

●住宅用太陽光発電システム設置費補助事業 560万円

太陽光発電システムを設置する町民に、1kW当たり3万5千円（上限4kW、14万円）を補助する事業です。

●南九州西回り自動車道建設補償工事 1億7,442万円

自動車道建設の影響により、湧水問題が生じている伏木氏地区と河原地区の対策工事を実施します。

6 効率的な行政組織づくり きめ細かな住民サービスの提供や行財政改革を行う事業です。

●役場庁舎太陽光発電システム設置事業 2,602万円

環境への負荷軽減と災害時の非常電源確保のため、蓄電池を含めた10kWの太陽光発電システムを役場庁舎に設置する事業です。

平成25年度一般会計当初予算の主な使い道

芦北町総合計画の基本理念「個性の光る活力あるまちづくり」実現に向けた事業展開を行います。

1 魅力的な地域づくり 地域づくり活動の支援や人材育成、子どもたちの健全育成を行う事業です。

●芦北町まちづくり支援事業 800万円

町内の84区の主体的な活動を支援するために、地域での祭りや環境美化活動などの事業に対して補助対象経費の8割を助成する事業です。また、心を和ませる、美しいまちづくりを進めるために花苗などの配布を実施します。



▲田川地区運動会(まちづくり支援事業)

●結婚支援事業 105万円

町内独身男性を対象に、結婚に結びつく事業を実施し、定住化促進を図る事業です。

2 人にやさしい快適なまちづくり 安全・安心な生活環境づくりや各種福祉サービスを提供する事業です。

●子ども医療費助成事業 5,803万円

疾病の早期治療と健康の保持、子育て支援を目的として、18歳までの医療費の一部負担金の全額を助成する事業です。

●予防接種助成事業 5,174万円

町民の皆さんの健康を支えるため、各種予防接種への助成を行います。また、平成25年度からインフルエンザ予防接種の無料化を18歳まで拡充します。

●防犯カメラ設置事業 100万円

犯罪の未然防止のため、佐敷駅などに防犯カメラを設置します。

●女島活力推進センター多目的広場整備事業 3,200万円

昨年8月にオープンした「ゆめもやい」の拠点性を高めるため、グラウンド、遊歩道などの周辺整備を行い、まちづくり活動や保健福祉の更なる向上を図ります。



▲防犯カメラ設置事業

●ハザードマップ作製、海拔標示板設置事業 525万円

地震や津波、高潮などの災害情報をまとめた地図を作製し、災害時に役立てられるよう各家庭に配布します。また、津波への意識啓発を図るため、沿岸部を中心に海拔標示板の設置を行います。

●障害者自立支援給付等事業 4億9,770万円

障害者総合支援法に基づく障害者自立支援給付に位置付けられているサービス（在宅・施設）を障害者へ提供します。

ひとり暮らし高齢者などへの福祉サービスをご存じですか

*問い合わせ先
福祉課高齢者福祉係
☎(82)2511(内線152)

緊急通報システム事業

65歳以上のひとり暮らし高齢者などで急病や災害などの緊急時に機敏に行動することが困難な人のために、通報装置を設置して医療の専門知識を有する担当者が急病や緊急時に安否確認などを行う事業です。

▼事業内容

- ① 24時間体制で相談や緊急時に協力者への連絡や救急車の手配などの対応を行います。
- ② 月2回の定期的な連絡を行い安否確認をします。
- ▼申請に際して
申請者の近隣に居住し、緊急時に状況などを確認できる協力者2名が必要となります。
- ▼費用など
通報装置(本体・ペンダント)設置等に係る費用は町が負担しますが、



▶ペンダント式通報装置

- ① 電話回線使用料 ② 修繕料
- ③ 移設・撤去料は自己負担となります。

老人日常生活用具給付

ひとり暮らし高齢者で心身の機能の低下に伴い、防火などの配慮や日常生活の便宜を図る必要がある人に日常生活用具を給付するサービスです。

▼利用できる人

65歳以上のひとり暮らし高齢者など

▼対象要件

- 前年所得税課税年額14万円以下の人
- ▼給付品・貸与品
① 電磁調理器 ② 火災警報器
- ③ 自動消火器 ④ 老人用電話
- ▼負担金
前年の収入に応じて負担金が異なります。
- ▼その他
給付品によっては、対象要件が異なりますのでご相談ください。



災害時要援護者避難支援制度

災害が起きたとき、手助け(援助)を必要とするひとり暮らし高齢者などに對して、行政区、自主防災組織、民生委員、近所の人など地域が連携して支援する制度です。

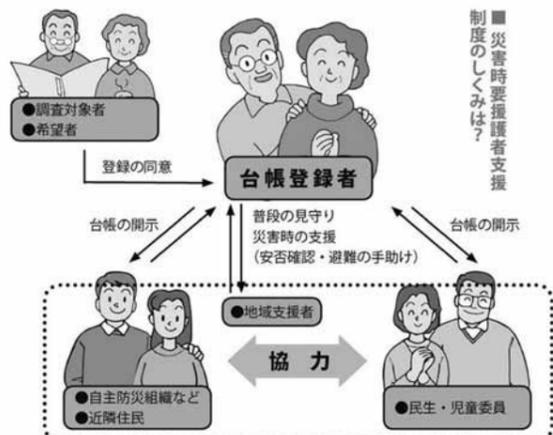
この制度を利用するためには、事前の登録が必要です。

▼利用できる人

- ① 高齢者(ひとり暮らし、寝たきり、認知症など)の人
- ② 障害者(身体、知的、精神)の人
- ※災害時において自力で避難できる人または家族などの同居者の援助により避難できる人は対象外となります。

▼災害時に支援を受けるためには

- ① 近所の人などで支援してくれる人(地域支援者)を決めて、登録台帳に登録することに同意していただきます。
- ② 登録する際に、支援のために必要な個人情報や地域支援者に提供することに同意していただきます。



▼地域支援者には
要援護者への日頃の声掛けや災害が起きたときの安否確認、避難の手助けをお願いします。ただし、できる範囲での支援であり、責任を伴うものではありません。

保健センターだより

*問い合わせ先
保健センター ☎(86)0200

平成25年度各種健診の申し込みはお済みですか?

「健診一括申込書」の提出をお忘れなく!

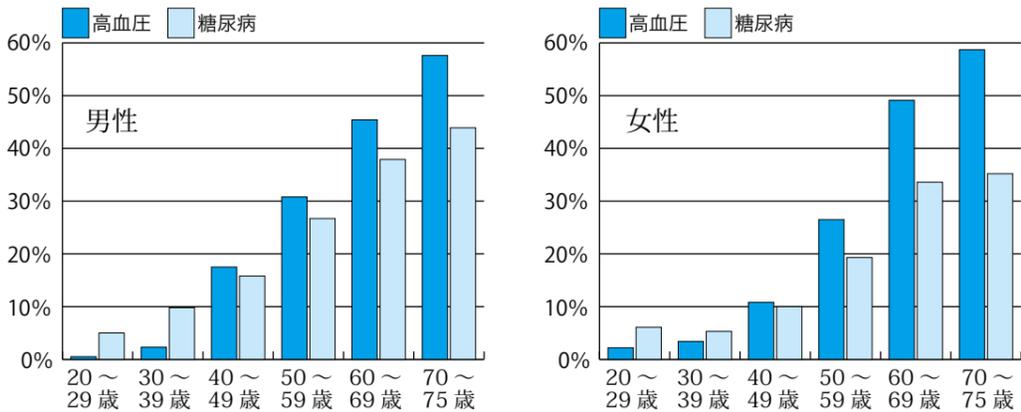
4月初旬に保健センターから各世帯主宛てに「平成25年度各種健診一括申込書」を送付しています。受診を希望する健診項目の欄に「○」印を記入して、4月19日(金)までに各区长、班長または保健センター、役場住民生活課、田浦基幹支所、各出張所に提出をお願いします。

また、受診を希望しない人も、必ずその理由の番号を選択して提出をお願いします。なお、3月19日以降に若北町に転入した人は、健診一括申込書を発行しますので、保健センターにご連絡ください。

「私は大丈夫」は禁物です

下のグラフは、平成23年度に若北町国民健康保険被保険者が高血圧症と糖尿病が原因で医療機関を受診した割合を示しています。男女とも年齢が上がるにしたがって、受診する人が増えていきます。自覚症状がなくても、血管を痛める危険因子が増えてきているかもしれません。具合が悪くなる前に健診を受けましょう。

平成23年度国保被保険者の高血圧症と糖尿病による医療機関の受診割合



すくすく育っています

1歳6カ月児健診(3月15日実施)を受けた人を掲載しています。



芦北に残る文化遺産

23 上原白太鼓踊り

芦北町指定無形民俗文化財
昭和55年7月1日指定

今回は、上原白太鼓踊りを紹介します。上原地区は、平家の落人が住み着いたという伝説があるほど、芦北で最も深い地区の一つです。

白太鼓踊りは、宮崎県から熊本県南部にかけて分布している伝統芸能で、芦北で指定文化財となっているものだけでなく、田浦、鶴木山、上原、内木場、岩屋川内の5地区にあります。その名称は、白を横にしたような太鼓を担ぎ、勇壮な姿で踊ることに由来します。

上原白太鼓踊りは、江戸時代以前から継承されてきたと伝わっています。正式な名称が「上原白太鼓御神楽」と呼ばれるように、地区で祭られている不動尊や観音さんのお祭りの際に、神楽として奉納されていました。



▲上原白太鼓踊り

地区には、秘伝書として伝わっている「上原白太鼓絵巻」(町指定文化財)と「白太鼓御神楽の謂(いわれ)」があり、



▲「白太鼓御神楽の謂(いわれ)」(上段)と「上原白太鼓絵巻」

*問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎(87) 1171(内線145)

1番「天の岩戸」から最後「よるこひのまい」までの48の踊りが記されています。踊りは、華やかな装束に鹿の角のようなかぶり物をつけて4列に並び、太鼓を叩く人、鉦(かね)と鈴を鳴らす人にわかれて踊ります。

過疎化による後継者不足のため、昭和57年から一時中断を余儀なくされました。もともと各家の長男だけが踊っていたのですが、平成15年度からは女性も参加できるようにして、地区をあげて復活への取り組みがなされていますが、その後も人口減少と高齢化が進み、ここ5年ほど実施が難しくなっています。

上原に限らず、近年、継承が難しくなっている郷土芸能が増えていきます。郷土芸能が地域の絆を深め、様々な伝統継承に大きな役割を果たしてきたのは紛れもない事実です。数百年の伝統が私たちの時代で途絶えてしまうことはとても悲しいことです。いかにして後世に伝えていくか、地域のみんなで考えてみる必要がありますね。

平成25年度 町職員人事異動(4月1日付け)

※()内は前職

【課長級】

総務課長 吉田茂(税務課長)、企画財政課長 寺川健一(議事事務局長)、税務課長 早川純一(会計管理者兼会計室長)、会計管理者兼会計室長 園川民夫(商工観光課長補佐)、議事事務局長 下田研(総務課長補佐兼秘書広報係長)、農業委員会事務局長 鶴山秀生(水俣芦北広域行政事務組合派遣)、上下水道課長 江上繁(農業委員会事務局長)、水俣芦北広域行政事務組合派遣 岩間睦生(住民生活課環境対策室長)、社会福祉協議会事務局派遣 一丸喜八郎(社会福祉協議会事務局派遣(課長補佐))

【課長補佐級】

▼総務課 課長補佐兼秘書広報係長 田淵耕一(総務課総務係主幹)▼田浦基幹支所主幹 川口日出彦(建設課維持係主幹)▼税務課 収納係主幹 元山俊治(税務課収納係長)▼住民生活課 課長補佐 大塚雄二(教育課長補佐)、健康づくり推進室長 川尾敏浩(住民生活課長補佐)▼商工観光課 課長補佐 杉本勝典(社会福祉協議会事務局派遣)、商工係主幹 松本俊造(企画財政課財政係長)▼福祉課 課長補佐 杉本芳郎(福祉課障害者福祉係主幹)、▼建設課 住宅係主幹 上野孝司(上下水道課下水道係主幹)▼教育課 課長補佐 中田祐一(住民生活

課長補佐)▼社会福祉協議会事務局派遣 福田誠治(税務課住民税係主幹)

【係長級】

▼総務課 総務係長 池田康浩(福祉課社会福祉係長)、情報管理係長 唐帆秀明(建設課住宅係長)、大野出張所長 白坂フクミ(総務課監理係参事)▼企画財政課 財政係長 宮島昭典(総務課情報管理係長)、政策推進室 政策推進係長 蓑田慎司(温泉観光センター所長兼湯浦出張所長)▼税務課 住民税係長 梶浩之(農林水産課農政係長)▼住民生活課 総合窓口係長 黒田順子(大野出張所長)、介護保険係長 山田蓉子(社会教育センター参事)、清掃センター所長 上野晃祐(税務課収納係参事)▼商工観光課 温泉観光センター所長兼湯浦出張所長 岩間賢二(農林水産課林務水産係参事)、芦北海浜総合公園所長 正林謙輔(生涯学習課生涯学習係長)▼福祉課 社会福祉係長 田中英之(田浦基幹支所係長)、障害者福祉係長 鎌畑良一(学校給食センター所長)▼議会事務局 議会事務局書記(係長) 成松佐代美(議会事務局書記(参事))、▼農林水産課 農政係長 宮本賢治(農林水産課農政係参事)▼農業委員会事務局 次長 窪田和彦(住民生活課介護保険係長)▼建設課 維持係長 黒川龍一(農業委員

会事務局次長)▼上下水道課 下水道係長才保親哉(商工観光課芦北海浜総合公園所長)▼教育課 学校給食センター所長吉海貴臣(水俣芦北広域行政事務組合派遣)▼生涯学習課 生涯学習係長 鳥居佳史(企画財政課政策推進室政策推進係長)、文化振興係長 釜辰信(商工観光課商工係長)▼水俣芦北広域行政事務組合派遣 村上雅彦(清掃センター所長)

【参事級】

▼総務課 管財係 平生洋子(住民生活課医療年金係)、秘書広報係 上野友晴(商工観光課観光係)▼税務課 固定資産税係 本村健作(住民生活課医療年金係)▼農林水産課 農政係 寺川廣治(総務課秘書広報係)、振興係 井川裕二(建設課維持係)▼教育課 学校教育係 宮尾周二郎(総務課総務係)▼生涯学習課 社会教育センター 立岩登紀子(水俣芦北広域行政事務組合派遣)

【その他の職】

▼総務課 総務係 江口赴文(企画財政課財政係)、監理係 清水巧(建設課計画係)、防災交通係 松田勇士(税務課収納係)、田浦基幹支所 橋本恵実(総務課付)▼企画財政課 財政係 横山宗二郎(税務課固定資産税係)▼税務課 固定資産税係 上野寛道(熊本県派遣)、収納係 松下祐樹(農林水産課振興係)、林田勇(町民総合センター)▼住民生活課 健康づくり推進室医療年金係 岩本

景さんの 芦北チヨアチヨア記

(第11回)

芦北町国際交流員
李九景(イ・ユンギョン)

アンニョンハセヨ!

新しいスタート、4月です。4月の始まりには入学式や入社式などがあり、新しい生活をスタートする人は、わくわくする時期ですね。私も2年前の今頃、芦北に来る準備をしながら、どんなことが待っているだろう、どんな人たちと出会うだろう。とドキドキしていました。芦北に来てもう2年が経ちましたが、心だけはいつも初



▶韓国、漢江の桜

めてのように頑張りたいと思います。韓国では3月に入学式などがあり、日本より新学期が1カ月早く始まります。4月は新入生や新入社員にとって、新しい環境に慣れず忙しい生活を送っている時期です。そんな忙しい中でも忘れないことは「花見」です!ソウルの桜開花の時期は芦北より少し遅れていて、4月の中旬、満開の桜が見られます。韓国の花見は、日本のように桜の木の下でシートを敷いて宴会をすることは少し違い、ピクニックのような感じでお弁当を持って遊園地や公園に出掛けます。各地では様々な花見のイベントがあります。特に、ソウルの真ん中に流れている大きい川の漢江(ハンガン)ではポッコク(桜まつり)が盛大に開かれ、大勢の人でにぎわいます。

私が芦北町に初めて来た時は、桜がもう散ってしまい見られませんでした。去年と今年は綺麗な桜を見ることができました。御立岬公園や湯浦の国道3号沿いの桜の風景は心を温かくしてくれて春を感じられました。皆さんも春の新しいスタートとともに花見はいかがですか。

さやか(総務課付)▼福祉課 湯浦保育所 檜前峰子(大野保育所)、大野保育所 池松清美(湯浦保育所)、中村一美(湯浦保育所)▼建設課 計画係 岩本英次(上下水道課水道係)▼生涯学習課 体育振興係 一田貴臣(総務課防災交通係)、町民総合センター 大矢聡(生涯学習課体育振興係)▼熊本県派遣 鶴田裕之(教育課学校教育係)

【新規採用】

▼住民生活課 総合窓口係 杉村真美、健康づくり推進室医療年金係 山崎大至▼商工観光課観光係 山崎智雄▼農林水産課林務水産係 曾我部亮輔▼上下水道課水道係 桑本裕一郎

【3月31日付け退職者】

坂梨優(総務課長)
井上民男(企画財政課長)
湯野一之(上下水道課長)
高島繁(生涯学習課文化振興係主幹)
永野まさの(住民生活課総合窓口係長)
早稲田康子(大野保育所調理師)

※機構改革により住民生活課環境対策室が廃止、住民生活課に健康づくり推進室を新設しました。

「芦北町ふるさとづくり基金
運用事業」助成募集

町内で活動する団体や、今から継続的にまちづくりを続けていきたいと考えている人で、一定の条件を満たすと町の助成が受けられます。対象事業には、スポーツ・文化振興・国際交流などがあります。

▼申請期限 5月8日(水)
*申込・問い合わせ先
企画財政課 まちづくり推進係
☎(82)2511(内線252)

芦北町地域体育協会の
地域割りが変わります

これまで田浦、佐敷、大東、湯浦の4つの地域に分かれていた地域体育協会が4月1日から田浦北部、田浦南部、佐敷西、佐敷東、大東、湯島、泉南の7つの地域割りに変更になりました。

【田浦北部】
田浦1、田浦2、田浦3、田浦4、横居木、波多島、井牟田1、井牟田2、田浦町1、田浦町2、田浦町3、田浦町4
【田浦南部】
小田浦1、小田浦2、小田浦3、小田浦4、小田浦5、小田浦6、小田浦7、海浦1、海浦2
【佐敷西】
鶴木山、計石西、計石東、白岩、花

平成25年度
水俣病犠牲者慰霊式

水俣病の犠牲になって亡くなられた全ての生命に慰霊の祈りを捧げ、環境再生・創造を誓い、生命・健康・環境の尊さを全世界に訴えていくために慰霊式を開催します。

▼日時 5月1日(水)(雨天決行)
午後1時30分
▼場所 エコパーク水俣親水緑地
「水俣病慰霊の碑」前
※会場まで送迎バスを運行します。
*問い合わせ先
水俣市環境モデル都市推進課
☎(61)1612

田浦子育て支援センター 5月の行事

7日(火)～10日(金) 母の日プレゼント作り
14日(火) お見知り遠足(児童公園へ行く)
23日(木) クッキング(サンドイッチ作り)
30日(木) 身体測定・誕生会
※支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。一時保育も行っています。
▶センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
午前9時30分～正午 午後2時45分～5時15分
*問い合わせ先 田浦子育て支援センター
☎(87)0034

岡西、芦北
【佐敷東】

乙千屋、伏木氏、向町、本町、上町、新町、道川内西、道川内東、田川、桑原八幡、宮浦、花岡東、花岡北、諏訪

【大東】

松生、大尼田、立川、永谷、黒岩、大岩2、岩屋川内、大岩1、吉尾、市居原、上原、海路、高田辺、内木場、飯瀬、白石、東告、西告、天月、白木、塩浸、市野瀬、大野、国見

【湯島】

平生、女島西、沖、福浦、湯浦北、湯浦南、湯南団地

【泉南】

湯浦東、宮崎、米田、丸山、豊岡、大川内西、大川内東、大川内南、高岡北、高岡南、古石北、古石南

*問い合わせ先
芦北町体育協会事務局
(しろやまスカイドーム内)
☎(82)5858

社会教育センター
展示室案内

社会教育センターの展示室では、自主講座の作品を展示しています。
【陶芸会による陶芸展】
▼期間 5月2日(木)～6月4日(火)
*問い合わせ先
芦北町社会教育センター
☎(82)2213

(公財)水俣・芦北地域振興
財団助成事業2次募集

町内において活動し、本町の地域産業の振興や地域住民などの自主的な地域づくり活動を支援する事業などに関する取り組みを考えている団体で、一定の条件を満たすと助成が受けられます。

今回の募集は、10月に開催される「水銀に関する水俣条約外交会議」に関連する環境・観光の情報発信、おもてなし事業に限定して行われます。

▼申込期限 5月15日(水)
*申込・問い合わせ先
企画財政課まちづくり推進係
☎(82)2511(内線252)

危険物取扱者試験案内

▼試験の種類
・甲種危険物取扱者試験
・乙種危険物取扱者試験
(第1類から第6類)
・丙種危険物取扱者試験
▼試験日 6月9日(日)
▼受付期間
4月15日(月)～4月24日(水)
(午前9時～午後4時30分)
※郵送の場合は4月24日の消印のあるものまで有効。電子申請の手続

平成25年度町民歴史講座開催

芦北町に残る数多くの歴史遺産や文化遺産について学習してみませんか。今年度は、指定文化財の板碑や石橋などの「芦北に残る石造物」をテーマに開催します。

▼募集対象
町内に在住・在勤の人
(※全4回に参加できる人)
▼募集人員 25人(先着順)
▼参加費 無料
▼申込期限 5月17日(金)



▲門口眼鏡橋(田浦2・3)

*申込・問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎(87)1171(内線145)

【町民歴史講座日程】

回	日時	内容	場所
1	5月31日(金) 午後7時30分～9時	「知ってみよう!芦北に残る石造物」 開講式、町内にある石造物について紹介	社会教育センター
2	8月2日(金) 午後7時30分～9時	「学んでみよう!石橋の魅力」 外部講師(専門家)による講義	社会教育センター
3	11月下旬予定 午前9時～午後4時	「見学してみよう!芦北に残る石造物1」 田浦・佐敷地区の石造物を見学	現地見学
4	2月1日(土)予定 午前9時～午後4時	「見学してみよう!芦北に残る石造物2」 湯浦・大野・吉尾地区の石造物を見学	現地見学、 社会教育センター

全日本トライアル選手権
シリーズ ラウンド3九州



▼期日 5月12日(日)
(雨天決行)
▼開催会場
芦北町小田浦和田山タナカ森林農場
田浦港海岸(小田浦松ヶ崎)
▼入場料
【前売券】1,500円
【当日券】2,000円
※中学生以下無料
*問い合わせ先
九州モーターサイクルスポーツ協会
☎092(473)2616

感電事故防止のお願い

こいのぼりの季節になりましたが、感電事故防止のため、電線付近でこいのぼりの掲揚や魚釣りは絶対に行わないようお願いします。万一、こいのぼりや釣り糸が電線に掛かった場合は自分で取ろうとせず、九州電力までご連絡ください。
*問い合わせ先
九州電力八代営業所
☎0120(986)606

事件・事故は110番

芦北警察署

☎(82)3110

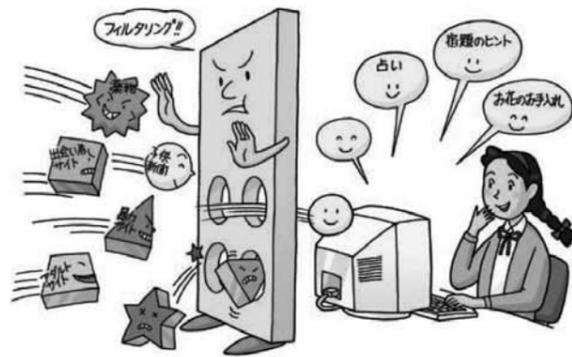


フィルタリングが子どもを守ります！

フィルタリングとは、インターネット上の違法・有害情報を見せない仕組みです。インターネットは、生活に役立つ情報が得られる便利なものですが、子どもに見せたくない有害な情報も溢れています。これまでに、子どもが有害情報サイトを見たことで、

- ・アダルトサイトを見るために連絡先などを登録したら、電話がかかってきて高額な閲覧料金を請求された
- ・掲示板に自分を誹謗中傷する書き込みをされた
- ・出会い系サイトで知り合った人に強引に売春をさせられたなどの被害に遭っています。

有害な情報から子どもを守るために、携帯電話やパソコンなどのフィルタリング対策を行いましょう。携帯電話の場合は、軽帯電話各社がフィルタリングサービスを無料で提供しています。パソコンの場合は、市販されているフィルタリングソフトをパソコンにインストールする方法などがあります。



- 有害な情報とは…
- ・アダルト画像
 - ・出会い系サイト
 - ・残虐画像
 - ・覚せい剤などの販売
 - ・誹謗中傷を載せた掲示板
 - ・自殺サイト など

火事と救急は119番

芦北消防署

☎(82)4731



平成24年中の火災・救急・救助の 出動状況をお知らせします

- ◆火災出動件数 8件 (前年比3件減)
- ◎主な内訳
 - ・こんろ
 - ・電灯や電話などの配線
 - ・火入れ など
- ◆救急出動件数 822件 (前年比75件増)
- ◎主な内訳
 - ・急病
 - ・転院搬送
 - ・交通事故 など
- ◆救助出動件数 8件 (前年比9件減)
- ◎主な内訳
 - ・火災
 - ・交通事故
 - ・水難事故 など



暖かな日が続く、火の取り扱いは注意も緩みがちな春先は、空気が乾燥して風が強くなり、火災が発生しやすくなっています。芦北管内でも火災が多発していますので、より一層の注意をお願いします。

救急出動件数については、全国的にも増加傾向にあります。健康診断や予防接種、体調を崩した時の早期受診など、日頃からの予防に努めましょう。また、救急車の適正利用についても、皆さまのご理解とご協力をお願いします。



編集後記

▼桜も散り、山の木々も勢いよく青々と葉を出す季節となってきました▼春は出会いと別れの季節です。町内の小中学校などでも卒業式、入学式が行われました。取材した大野小学校では13人が卒業、運動会や修学旅行など6年間の思い出を卒業生が発表し「数えきれない思い出を胸に私たちはそれぞれの道を歩んでいきます」と自信に満ちた表情で学校を後にしていました▼皆さんに分かりやすく、見やすい広報を作らなければと思いついた▼皆さんから頑張ってください3年が経ちました。人事異動で私が担当する広報紙は今月号が最後となりました。広報あしきたの担当は私1人でしたが、決して1人でできる仕事ではありません。情報を提供してくださった人、取材に応じてくださった人、校正してくれた同僚・上司、毎月読んでくださる皆さん、たくさん人の協力があったおかげで毎月発行することができました。これまでも協力いただいた全ての皆さまに心から感謝申し上げます。発刊100号となりました。今月号から一部カラー化になりました。今後も引き続き広報あしきたをよろしく願います▼4月に入り、新たな場所・部署で生活をしている人も多いかと思えます。新しく人生をスタートした人もそうでない人も新たな気持ちで今年度も明るく笑顔で頑張ってください。寺川廣治

お誕生おめでとう

H25.3.1～3.31 受付分 (敬称略) 受付件数 12件

氏名	誕生日	性別	保護者	区
松下 千鶴	2.25	女	貢史郎	諏訪
徳永 蓮翔	3.1	男	章典	大野
中村 おと	3.6	女	竜一	田浦町1
中村 うた	3.6	女	竜一	田浦町1
井川 美奈	3.7	女	伸一郎	沖
山口 智沙	3.8	女	智樹	海浦2
濱田 煌愛	3.12	男	卓弥	田浦町2
百田 悠人	3.16	男	祐平	小田浦5
橋口 健生	3.21	男	貴文	豊岡

※町外に提出した人で、掲載を希望する場合は、役場総務課秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H25.3.1～3.31 受付分 (敬称略) 受付件数 31件

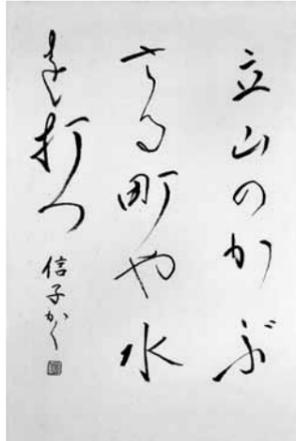
氏名	死亡日	年齢	区
鶴田 敏明	3.1	90	米田
水口 己一	3.3	87	花岡西
岩本 慶行	3.3	98	岩屋川内
濱田 マサノ	3.7	91	井牟田1
上村 博	3.9	59	田浦1
宮下 影喜	3.9	82	白木
濱田 律夫	3.9	51	田浦町2
田上 フユノ	3.10	96	計石東
立岡 晴	3.10	88	上町
松崎 ノブエ	3.11	77	籠瀬
本村 三好	3.12	87	湯南団地
倉本 伸一	3.14	82	湯南団地
浜田 タミ子	3.14	80	田浦町3
岩間 ミツモ	3.14	88	古石北
白藤 穂義	3.14	92	白木
田中 香	3.17	87	海浦2
岩本 榮	3.18	93	大岩二
才林 市次	3.18	75	白岩
澤田 常雄	3.19	91	田浦町4
中原 テル子	3.20	70	田浦2
松岡 一生	3.21	82	海浦2
木原 ミエ子	3.24	84	高岡北
福浦 卯一	3.24	94	井牟田1
岡田 タミ子	3.26	76	花岡西
楠本 ミエ子	3.26	75	松生
平中 初美	3.27	91	西告
山下 ヤエ子	3.28	91	大野
下村 フミ子	3.30	82	計石東

※本町窓口へ届出を出した人で、掲載の承諾を得た人を掲載しています。

人口の動き (H25.4.1現在) ()内は前月比

人口	19,372人	(-118)
男	9,052人	(-50)
女	10,320人	(-68)
65歳以上	7,133人	(+6)
世帯数	7,547世帯	(-3)

書道 (かな)



長江 信子

短歌

【町民講座】

霜しるく凍てたる庭の一隅に春の使いの紫すみれ
 冬空に宿る光に照らされてわが内にある月は膨らむ
 うぐいすが春の訪れ知らせきて囁る声に梅花散りしく
 試着したベストの裾は長めかと問う母の背はややに曲りて
 寒冷のゆるみし夜の裸木は黙して芽吹きの日を待ちており

山本美美子
森 直美
小川 勝子
下田みのぶ
平江 千速

【田浦荘短歌会】

さくらさくら野山も里も霞かく黄砂にPM二・五とや
 釣り好きの夫が釣りくるガラカブを待ちて夕餉の味噌汁作る
 甘夏の給餌もあきてブロッコリつつく鴨いかんともせん
 春くればデイサービスの行き帰りのしみに見る波多島の桜
 帰国せる息子夫婦は早咲きのお立岬の桜よろこぶ

野浦 悟
竹林 淳子
迫本 浩美
井崎ユキエ
野浦 忍

芦北を守る消防団集結



3



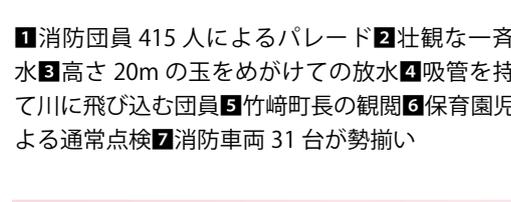
4



5



6



7



1



2

芦北町消防点検

芦北町消防点検が3月17日、佐敷中学校グラウンドで行われました。ラッパ隊を先頭に消防団員415人が社会教育センターから佐敷中学校まで堂々とパレード。その後、分列行進、規律競技を行いました。保育園児、幼稚園児の通常点検と放水も披露され会場を沸かせました。

午後からは4年ぶりの開催となる放水競技が佐敷川河川敷で行われ各分団の代表がタイムを競いました。最後には合併後初となる一斉放水を行い、迫力ある20本の水柱に観客から歓声が上がっていました。

【規律競技】

- 1位 機動分団
- 2位 第2分団
- 3位 第7分団

【放水競技】

- 1位 第3分団
- 2位 第9分団A
- 3位 第2分団

1 消防団員415人によるパレード 2 壮観な一斉放水 3 高さ20mの玉をめがけての放水 4 吸管を持って川に飛び込む団員 5 竹崎町長の観閲 6 保育園児による通常点検 7 消防車両31台が勢揃い

芦北町立星野富弘美術館だより

3月は、バスツアーでの利用が多く、500人を超える来館者がありました。ゴールデンウィーク期間中も開館していますので、ぜひお越しください。



▲「チューリップ」2001年

◆「星野富弘の詩画と詩画公募展」

- 期間 5月12日(日)まで
- 休館日 第2・4月曜日(祝日除く)
- 開館時間 午前9時～午後5時
- *問い合わせ先
星野富弘美術館
☎(86)1600

薩摩街道ふるさと湯の香ぎゃらりー

町民の皆さんが制作した作品が湯浦地区に展示してあります。その一部を紹介します。

